



次長

總務部長



陸軍

陸軍



陸軍

第七〇九號

本部長

陸軍

演習場規則改正ノ件達

五月廿四日

陸軍

第一

般

陸軍

第一

般

陸軍

第一

般

陸軍演習場規則改正ノ件達

陸軍一般

陸軍演習場規則左ノ通改正ス

大正五年五月二十二日

陸軍大臣 大島 健一

陸軍演習場規則

第一章 總則

第一條

演習場ハ

所在師管ノ

師團長

朝鮮ニ在リテハ朝鮮駐衛

軍司令官、臺灣ニ在リテハ

臺灣總督

以下同シ

臺灣總督

ニテ管轄ス

但シ前橋、富士裾野、坂本、長田野、三

瓶原、黒石原及日本原演習場ハ附表第一ニ定ムル

師團長之ヲ管轄ス

師團長之ヲ管轄ス

師團長之ヲ管轄ス

師團長之ヲ管轄ス

師團長之ヲ管轄ス

師團長之ヲ管轄ス

師團長之ヲ管轄ス

師團長之ヲ管轄ス

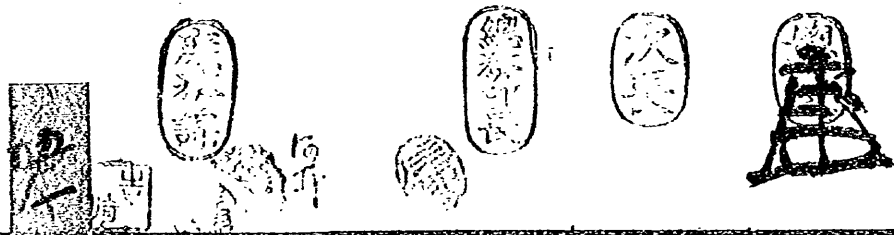
師團長之ヲ管轄ス

甲例數

0777

0778

割註
ラカフ
但書
前橋、富士裾野、坂本、長田野、三瓶原、黒石原及日本原演習場ハ附表第一ニ定ムル



陸普第一七〇九號

陸軍演習場規則改正ノ件達

五月廿四日

甲例數

陸軍演習場規則改正ノ件達

陸軍一般

陸軍演習場規則左ノ通改正ス

大正五年五月二十二日

陸軍大臣 大島 健一

陸軍演習場規則

第一章 總則

第一條

演習場ハ所在師管ノ師團長

朝鮮ニ在リテハ朝鮮駐劄軍司令官、臺灣ニ在リテハ

臺灣總督以下同シ

ニテ管轄ス但シ前橋、富士裾野、坂本、長田野、三

瓶原、黒石原及日本原演習場ハ附表第一ニ定ムル

師團長之ヲ管轄ス

0777
0778

割註
ラカフ
但書
前橋
尚橋
勢橋
演習

0778

割註
ラカフ
但書「前環
前橋
勢橋
演習場
ヲ除ク

0779

第二條

演習場管轄師團長

以下單ニ師團長ト稱ス

ハ本規則ニ基キ

演習場ニ關スル細部ノ規程ヲ定メ之ヲ陸軍大臣

ニ報告スヘシ

第三條

陸軍練兵場、小銃射擊場及各兵作業場ノ管

理、維持、使用等ニ關シテハ本規則ニ準據スヘシ

第二章 演習場管理機關

第四條

演習場ヲ現ニ使用スル團隊長

學校長ヲ含ム以下同シ

中高

級古參ノ者ヲ以テ演習場司令官トス但シ習志野

ニ在リテハ騎兵第二旅團長、下志津ニ在リテハ野

砲兵第三旅團長、高師原ニ在リテハ歩兵第十七旅

團長ヲ以テ演習場司令官トス

前項但書ノ演習場司令官不在ナルトキハ演習場

0780

副註

ヲ現ニ使用スル團隊長中高級古參ノ者演習場司令官ノ職務ヲ執行ス

第五條 師團長ノ下ニ演習場管理委員ヲ置キ師團長之ヲ命ス

演習場管理委員長

以下單ニ管理委員長ト稱ス

ハ當該師團ノ參謀長

朝鮮ニ在

リテハ朝鮮駐節軍參謀長、臺灣ニ在リテハ臺灣總督府陸軍參謀長以下同シ

ヲ以テ之ニ充テ委員ハ同師

團司令部ノ將校同相當官中ヨリ之ヲ命スルモノ

トス

前項ノ外要スレハ演習場ヲ使用スル團隊

學校ヲ含ム以下同シ

其ノ他ノ將校同相當官中ヨリ委員ヲ任命スルコ

トヲ得但シ所管外ノ者ヲ以テ委員ト爲ス場合ニ

於テハ其ノ所管長官ニ協議シ所管長官ニ於テ之

0781

臺灣總督府陸軍參謀長

テ 之	合 ニ	ル コ	同 シ ヲ 含 ム	モ ノ	同 師	長 ニ 朝 鮮 在	師 團	場 司
--------	--------	--------	-----------------------	--------	--------	-----------------------	--------	--------

0781

長
朝
鮮
在
師
團
場
司

0782

ヲ命スルモノトス

第六條 演習場(廠舎ヲ設ケサルモノヲ除ク)ニ演習

場主管

以下單ニ主管ト稱ス

ヲ置ク

主管ハ管理委員長ニ隸シ通常豫備役後備役將校同相當官、准士官ヲ以テ之ニ充テ其ノ身分ハ囑託者トス

主管ノ下ニ所要ノ雇員傭人ヲ置ク

主管及雇員ノ定員ハ附表第一ニ、主管雇員及傭人ノ手當及給料ハ附表第二ニ依ル

第七條 師團長ハ演習場ニ關スル全般ノ業務ヲ統轄ス但シ土地、建物ノ經營ハ此ノ限ニ在ラス

第八條

演習場管轄師團ノ經理部長

近衛及第一師團長ノ管轄スルモノニ在リテハ陸軍

四

三

0783

同相當官以下ヲ加フ

本項ヲ加フ

割註スル

東京經理部長 朝鮮ニ在リテハ朝鮮駐節軍經理部長
臺灣ニ在リテハ臺灣總督府陸軍經理部長以下同シ

地建物ノ經營ニ關シテハ師團長ノ意圖ニ準據シ
其ノ實施ヲ爲スモノトス

經理部長ハ前項ノ業務ニ關シ主管ヲ指揮監督ス

第九條 演習場司令官ハ演習場ニ於ケル軍紀風紀
ヲ維持シ衛生ヲ掌リ警戒及取締ニ任シ使用團隊
ニ於ケル演習場ニ關スル諸規定ノ服行ヲ監視シ
要スレハ演習場ノ地區竝各團隊共用演習材料ノ
分配ヲ掌ル

第十條 管理委員長ハ委員及主管ヲ指揮シ師團長
ノ定ムル所ニ從ヒ土地、建物ノ使用ヲ掌リ備附物
品ヲ管理シ其ノ保存、使用及受授ヲ確實ナラシム

0784

抄
改
入
部
分

ルノ責ニ任ス

委員ハ委員長ノ命ヲ承ケ演習場ニ關スル事務ヲ掌ル

第十一條 兵器本廠長ハ演習場備附兵器ヲ管理シ

演習場管轄師團司令部所在地ノ兵器支廠長_{以下單ニ兵器支廠稱ス}ヲシテ之ヲ保管セシム

第十二條 主管ハ所屬雇員傭人ヲ指揮シ備附ノ兵器、物品及各團隊委託諸材料ノ監守、受授並修理ノ取扱ヲ掌リ土地、建物ノ監守ニ從事ス

第三章 演習場ノ使用

第十三條 演習場ヲ使用スル團隊ハ附表第一ニ依ル

0785

ヤシキリカウ

ヤシキリカウ

團隊ニ於テ教育上前項規定以外ノ演習場ヲ使用
スルノ必要アルトキハ所管長官ハ同一所管内ノ
演習場ニ在リテハ自ラ其ノ許否ヲ定メ他所管ノ
演習場ニ在リテハ當該師團長ニ協議第十六條ニ係ルモノ
ニ在リテハ同時ニ教
育總監
ニ稟議シ其ノ承認ヲ受クヘシ

第十四條 他所管ノ演習場ヲ使用スル團隊ノ所管
長官ハ各團隊ノ翌教育年度間ニ行フヘキ演習ノ
種類、時日並使用スヘキ演習場、廠舎、備附物品等ノ
概定表ヲ作り毎年十月十日迄ニ當該師團長ニ之
ヲ送付シ演習場ノ使用ヲ要求スヘシ

第十五條 師團長ハ部下團隊ノ演習計畫並前條ノ
要求ニ基キ翌教育年度間ニ團隊ノ使用スヘキ演

0786

図形資料センター
使用

百場ヲ使用	一所管内ノ	モ他所管ノ	第十六條ニ係ルモノ 在リテハ同時ニ敷	團隊ノ所管	ヘキ演習ノ	附物品等ノ	即團長ニ之	畫竝前條ノ	用スヘキ演
-------	-------	-------	-----------------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

0786

因新舊ノ
諸名所使用ノ
申込

0787

習場、時日、廠舎及備附物品等ノ配當ヲ定メ毎年十月盡日迄ニ部下關係團隊長及管理委員長ニ達シ又前條ノ要求ヲ爲シタル所管長官ニ通報スヘシ

第十六條 習志野、下志津及富士裾野演習場ノ使用ニ就テハ前二條ニ依ラス使用團隊ノ所管長官ハ第十四條ノ概定表ヲ教育總監ニ送付シ教育總監ニ於テ第十五條ノ配當ヲ定メ毎年十月盡日迄ニ關係諸官ニ通達シ師團長ハ之ヲ管理委員長ニ達スヘシ

第十七條 各團隊長ハ前二條ニ依リ定メラレタル範圍内ニ於テ彼は協議ノ上演習場、廠舎及備附物品ノ使用時日ヲ變更スルコトヲ得

0788

前項ノ場合竝前二條ニ依リ通達ヲ受ケタル後演習場ノ使用ヲ中止シ又ハ使用期間ヲ短縮シタル場合ニハ速ニ所管長官ニ報告シ所管長官ハ他所管ノ演習場ニ在リテハ更ニ當該師團長第十六條ニ係ルモノニ在リテハ同時ニ教育總監ニ通報スヘシ

第十八條 官衙學校等ニ於テ試驗等ノ爲臨時ニ演習場使用ノ必要アルトキハ當該師團長第十六條ニ係ルモノニ在リテハ同時ニ教育總監ニ申出テ其ノ承認ヲ受クヘシ

第十九條 數團隊同時ニ同一演習場ヲ使用スル場合ニ在リテハ師團長ハ要スレハ各團隊演習ノ種類目的等ヲ顧慮シ其ノ使用區域射線概略ノ方向等ヲ指定スヘシ

五

0789

前項ノ場合ハト
ニ在リテハ更ニ
レマテヲ加フ

演習場使用ノ必要アルトキハ

演習場使用ノ必要アルトキハ

0789

前項ノ場合ニトシテハ
ニ在リテハ更ニマテヲ加フ
他所管ノ演習場

0790

漢方館建即及備附物仲社使用時ノ配為一仲ノ條ノ

陽智館自官ノ所為長ノ改メ

第四章 報告

第二十條 各團隊長ハ毎年十一月盡日迄ニ其ノ教育年度間ニ使用シタル演習場ニ關スル意見ヲ管理委員長ヲ經テ師團長ニ申達スヘシ

第二十一條 經理部長ハ每教育年度末ニ於テ演習場ニ於ケル所管土地、建物等ニ關スル現況表附表第三ヲ製シ之ヲ管理委員長ニ送付スヘシ

第二十二條 管理委員長ハ毎年十一月盡日迄ニ演習場一般ニ關スル意見ニ現況表及備附物品表附表第四ヲ添ヘ師團長ニ申達スヘシ

第二十三條 兵器支廠長ハ毎年十一月盡日迄ニ演習場備附兵器ノ狀況ヲ兵器本廠長ニ報告シ且師

079.1

且 師	ニ 演	表 附 四表	ニ 演	演 習	ヲ 管	ノ 教	頁
--------	--------	--------------	--------	--------	--------	--------	---

0791

旧 教育年表開始所 ト 0792	第四表 新表ヲ 第二、第三、第四表ヲ 0792
-------------------------------------	--

團長ニ通報スヘシ

第二十四條 師團長ハ前諸條ノ報告ニヨリ所轄演習場ニ關スル意見ニ現況表ヲ添ヘ十二月盡日迄ニ陸軍大臣ニ報告シ且所要ノ事項ヲ管理委員長、經理部長及使用團隊長ニ通達_{第十六條ニ係ルモノニ在リテハ教育總監ニ通報スヘシ}

第五章 土地、建物及備附兵器、物品

第二十五條 演習場使用團隊ハ猥リニ地區地物ヲ變更シ又ハ竹木等ヲ伐截スルコトヲ得ス若演習上必要アルトキハ師團長ニ申出ヘシ

第二十六條 演習場ニ於ケル土工作业ハ師團長ノ定メタル地域ニ於テ之ヲ行フモノトス

0793

第二十七條 演習場ニ於テ土工作業ヲ行ヒ又ハ射

彈ヲ掘リタルトキハ其ノ場所ヲ原形ニ復シ車輪
馬蹄等ノ没セサル如ク地盤ヲ固メ置クヘシ若演
習上危険ノ虞アルトキハ所要ノ標示ヲ爲シ之ヲ
演習場司令官ニ報告シ且主管ニ通報スヘシ

第二十八條 演習ノ爲大ナル土工作業ヲ行ハムト
シ又ハ將來演習ニ利用スル爲特ニ土工ヲ存セム
トスルトキハ團隊長ヨリ豫メ管理委員長ヲ經テ
師團長ノ認可ヲ受クヘシ此ノ場合ニ於テ管理委
員長ハ之ヲ關係師團長、常設セル演習場司令官、經
理部長及主管ニ通報スヘシ

第二十九條 演習場ニハ通常廠舎、倉庫等ヲ設ケ所

0794

要ノ共用射撃材料、寢具、陣營具等ヲ備ヘ又必要ニ
應シ兵器、練習用架橋材料、動的用機關、輕便鐵道、電
話、衛生材料、裝蹄用器具等ヲ備附ク其ノ經理ハ左
ノ各號ニ依ル

一 廠舍及倉庫等ノ營繕ハ新營費又ハ修繕費
ノ支辨トス但シ演習ヲ兼テ營造物ノ新營又
ハ修繕ニ兵力ヲ用ウル場合ニハ諸材料及職
工人夫等ノ費用ハ新營費又ハ修繕費、設計又
ハ竣工検査等ノ旅費ハ旅費、演習部隊ニ要ス
ル旅費ハ演習費ノ支辨トス

二 備附兵器ノ保存手入ニ要スル費用ハ兵器
本廠兵器彈藥費ノ支辨トス但シ使用團隊ニ

0795

中二項ノ中

於テ使用間ノ手入及破損品ノ補充若ハ修理
ニ要スル費用ハ使用團隊兵器彈藥費ノ支辨
トス

三 共用標的其ノ他射擊材料、動的用機關、輕便
鐵道、電話等ノ設備及保續、練習用具タル架橋
材料ノ保續並演習場備附物品運搬ニ要スル
費用ハ使用團隊演習費ノ支辨トス

四 寢具、陣營具、裝蹄用器具等ノ設備ハ使用團
隊ノ委任經理ニ屬スル現品又ハ積立金ヲ以
テシ其ノ保續ハ使用團隊委任經理ノ相當費
目ノ支辨トス
朝鮮ニ在リテ前項ノ物品中委任經理ニ非サ

0796

朝鮮國軍用品

朝鮮國軍用品

ルモノハ其ノ設備及保續費共當該相當費目
ノ支辨トス

五

師團長ハ演習場備附物品ノ設備、保續及改
良ニ關シ使用團隊ノ支出スヘキ費用ノ割合
ヲ定ム但シ所管ヲ異ニスル團隊ニ關スルモ
ノハ豫メ當該團隊所管長官ニ協議スルモノ
トス

前項ノ費用竝第一號但書ノ演習費ハ一時師
團長指定部隊ノ相當費目ヲ以テ支辨シ置キ
事後其ノ實費額ニ基キ各團隊ノ負擔額ヲ算
定シ委任經理外ノ費用ニ在リテハ仕拂豫算
増減ノ手續ニ依リ整理シ委任經理ニ屬スル

0797

費用ニ在リテハ之カ戻入ノ手續ヲ爲スヘシ
 六 演習場備附物品ハ演習場管轄師團司令部
 又ハ師團長指定ノ軍隊ニ保管轉換シ當該司
 令部又ハ軍隊ノ物品會計官吏ヲシテ保管セ
 シメ其ノ出納命令ハ管理委員長又ハ保管部
 隊ノ隊長之ヲ行フ

七 衛生材料ノ定數、管理、保管、監守其ノ他ニ關
 シテハ衛生材料取扱規則ノ規程ニ依ル

八 陸軍歩兵學校、陸軍野戰砲兵射擊學校、陸軍
 重砲兵射擊學校ノ各演習場ニ於テ使用スル
 特別ノ射擊材料ノ設備及保續ニ要スル費用
 ハ當該學校ノ負擔トス

0798

前項ノ射撃材料ヲ使用シタル團隊ハ必要ノ修理費ヲ當該學校ニ辨償スヘキモノトス下志津ニ於ケル動的用機關、輕便鐵道、電話等ノ設備及保續ニ要スル費用ハ野戰砲兵射撃學校ノ負擔トス

九 使用團隊ニ於テ特ニ破損又ハ紛失シタルモノニ係ル費用ハ總テ當該團隊ノ負擔ニ屬ス

第三十條 各團隊ノ演習材料等ニシテ多額ノ運搬費ヲ要スルモノハ必要ニ應シ管理委員長ノ承認ヲ受ケ演習場倉庫ニ格納シ主管ニ其ノ監守ヲ求ムルコトヲ得

第三十一條 團隊長ハ演習場ニ於テ使用スル建物、
備附物品ノ種類、員數等ヲ時日ニ依リ區分シ人馬
ノ員數表ヲ添ヘ豫メ主管ニ送付シ其ノ使用ヲ請
求スヘシ

第三十二條 團隊ハ演習場引揚ニ際シ廠舍内外ヲ
清潔ニ掃除シ廠舍及備附物品ヲ受領當時ト同様
ノ狀態ヲ以テ主管若ハ主管立會ノ上交代部隊ニ
引渡スヘシ若使用中破損紛失シタル物品及兵力
ヲ以テ修繕スルコト能ハサル建物ノ破損等アル
トキハ團隊長ハ其ノ種類、員數、場所、理由等ヲ記シ
タル調書ヲ主管ニ送付スヘシ主管ハ之ヲ検査ノ
上必要ノ事項ヲ演習場諸物品現況表ニ記入シ事

0800

第三十九條 團隊長演習場
一件削除

ル建物、
シ人馬
用ヲ請
内外ヲ
ト同様
部隊ニ
及兵力
寺アル
ヲ記シ
検査ノ
人シ事

0800

1件削除
第9条 團隊長 演習場 宛 意見 申出 方

0801

稍、重大ニ亘ルトキハ之ヲ管理委員長ニ報告スヘシ

第三十三條 演習場備附兵器ヲ使用セムトスルト
キハ團隊長ハ兵器支廠長ノ承認ヲ經タル後主管
ニ請求スヘシ

前項兵器ハ使用後保存用脂油ヲ塗り得ル程度ニ
手入ヲ爲シ且第二類火砲履歷ニ必要ノ事項ヲ記
入シタル後主管ニ返納スヘシ

豫備品車及輜重車ニ在リテハ第一項ノ手續ニ依
ラス直ニ主管ニ請求シテ使用シタル後之ヲ兵器
支廠長ニ通報スルコトヲ得

第三十四條 主管ハ備附兵器受授ノ際其ノ數量、手

0802

本條ヲ加フ

本條ヲ加フ

第三十三條第三項「委員長」ニ
セラル件削除

0802

本條ヲ加フ

本條ヲ加フ

第三十條第三項委員長委員ヲシテ
セシムル件削除

0803

入ノ良否、破損ノ有無、火砲履歷ノ記事等ヲ詳細ニ
取調若手入不良ナルトキハ之カ履行ヲ要求シ破
損又ハ數量ノ不足等アルトキハ補充若ハ修理ヲ
要求スヘシ

前項ノ場合ニ於テ事稍重大ニ亘ルトキハ之ヲ管
理委員長及兵器支廠長ニ報告スヘシ

第三十五條 土地、建物、備附物品ノ使用其ノ他竹木
ノ保護等ニ關シ演習場ノ規程ヲ遵守セサル者ア
ルトキハ主管ハ之ヲ演習場司令官ニ通報シ且管
理委員長ニ報告スヘシ但シ土地、建物ニ係ルモノ
ハ管理委員長ヨリ經理部長ニ通報スルモノトス
第三十六條 數團隊交代シテ同一廠舎ヲ使用セム

0804

委員長ノ指示ヲ受ケルハ件

演習場主後、演習團隊ニ對
中止ヲ請附ルルノ件削除

使用 セム	モ ノ ト ス	係 ル モ ノ	報 シ 且 管	サ ル 者 ア	ノ 他 竹 木	ハ 之 ヲ 管	ハ 修 理 ヲ	要 求 シ 破	ヲ 詳 細 ニ
----------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------

0804

委員長ノ指示ヲ受テハヤ件ノ削除
 演習場主及演習団隊ニ対シ勸作ノ
 中止ヲ請フルノ件ノ削除

0805

トスルトキハ一團隊ノ引揚後通常二十四時間ヲ
經タル後之ヲ使用スルモノトス

第三十七條 管理委員長及經理部長ハ通常演習場
使用期ノ終ニ於テ演習場ニ於ケル土地、建物其ノ
他諸物品ノ現況ニ應シ所管ニ係ル物件ノ復舊、修
繕、新調等ノ計畫ヲ定メ翌年度演習場使用開始迄
ニ其ノ實施ヲ終ルコトヲ力ムヘシ

第六章 演習場ノ警戒及取締

第三十八條 管理委員長第十五條及第十六條ノ通
達ヲ受ケタルトキハ之ヲ主管ニ達シ且必要ノ諸
件ヲ關係アル軍隊並地方官公衛等ニ通知スヘシ

第三十九條 演習場司令官ハ演習場ノ警戒取締及

0806

本條新設

傳染病豫防ニ關シ師團長ノ定メタル規程ヲ服行
セシムル爲所要ノ命令ヲ演習團隊ニ與フルコト
ヲ得

第四十條 演習場司令官ハ職務執行ノ爲必要ニ應
シ演習場使用團隊長ニ協議シ同團隊ニ屬スル將
校同相當官以下ヲ使用スルコトヲ得

第四十一條 演習場司令官ハ演習場ノ取締ニ關シ
各團隊ノ日直將校ヲ指揮シ且所要ニ應シ各團隊
ヨリ巡察將校、下士ヲ出サシム

前項ノ巡察ハ衛戍勤務ニ準シ服行スルモノトス
第四十二條 演習場司令官ハ射擊演習ニ際シ演習
場内外ノ危害豫防ニ關スル事項ヲ指示シ演習團

0807

隊ヲシテ確實ニ之ヲ服行セシムヘシ其ノ主要ナル事項概ネ左ノ如シ

- 一 演習場ニ通スル主要ナル道路ノ入口ニ禁令、危険區域其ノ他注意事項ヲ揭示スヘシ
- 二 射撃開始前ニ赤旗ヲ掲揚シ射撃終了後全ク危険ナキヲ認メタル後之ヲ降下スヘシ
- 三 砲兵射撃ヲ行フ場合ニハ當日第一ニ射撃スヘキ部隊ヲシテ射撃開始前ニ號砲ヲ發射セシムヘシ
- 四 將校ヲ長トスル警戒哨ヲ設ケ危険區域ニ通スル道路ノ入口其ノ他所要ノ地點ニ哨兵ヲ配付スヘシ

0808

本項新設

射撃以外ノ演習ニ在リテモ危険ヲ及ホスヘキ虞
アルトキ若ハ軍事上特ニ必要ト認ムルトキハ演
習場司令官ハ前項ニ準シ警戒及取締ヲ實施セシ
ムヘシ

第四十三條 團隊長ハ射撃演習ヲ行フ一週間前ニ
豫定日割ニ場所、危険區域、射撃中交通ヲ遮斷スヘ
キ道路等ヲ記載セル要圖ヲ添ヘ之ヲ主管並關係
アル軍隊、地方官公衛等ニ通知シ且演習場到着後
直ニ演習場司令官ニ報告スヘシ
常設演習場司令官ヲ置ク演習場ニ在リテハ團隊
長ハ演習場司令官ニ届出テ演習場司令官前項ノ
通知ヲ爲スヘシ

0809

新設

第四十四條 前諸條ノ外演習場ニ於ケル警戒ニ關
 シテハ各兵射擊教範ニ準據スヘシ
 第四十五條 廠舎ニ於テ傳染病發生シタルトキハ
 團隊長ハ直ニ之ヲ演習場司令官ニ報告シ演習場
 司令官ハ之ヲ師團長第十六條ニ係ルモノニ在リテハ師團長ヨリ更ニ教育總監ニ報告シ且
 交代スヘキ團隊ニ通告スヘシ
 第四十六條 師團長前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ
 管理委員長ニ命シ必要ノ消毒ヲ行ヒ軍醫又ハ獸
 醫ヨリ病毒消滅ノ報告ヲ得タル後ニ非サレハ其
 ノ廠舎ヲ使用セシムヘカラス
 前項ノ場合ニ要スル人員材料ハ管理委員長ノ請
 求ニ應シ當該團隊ヨリ差出スモノトス

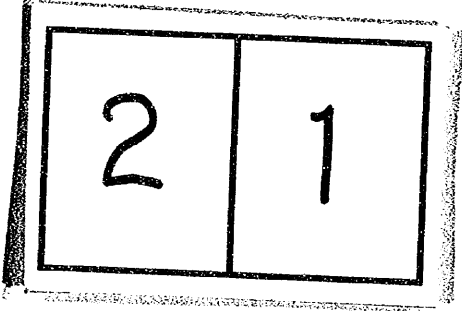
0810

本條新設

第四十七條 廠舎ノ火災豫防ニ關シテハ軍隊内務
書ノ規定ヲ準用シ團隊長及主管之ヲ實行スヘシ

0811

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

附表第一

管轄 師團長		演習場		師管 位置		使用 團隊		主管 雇員	
近衛	前	富士裾野	橋	第十四	群馬縣前橋市	東京、水戸工兵大隊		一	
第一	下志津	習志野	第一	千葉縣千葉市	東京、國府臺、下志津、横須賀、浦賀、靜岡、甲府、諸團隊		一	二	
第二	王城寺原	尾花澤	第二	宮城縣加美郡	仙臺諸團隊		一	一	
第三	各務原	坂本	第三	岐阜縣羽島郡	若松歩兵聯隊		一	一	
第四	信太山	長田野	第四	京都府天田郡	大阪、高槻、奈良、和歌山、深山諸團隊		一	一	
第五	三瓶原	馬村	第五	廣島縣賀茂郡	廣島、濱田、松江、忠海諸團隊		一	一	
第六	大矢野原	廣安	第六	山口縣美禰郡	山口、下關諸團隊		一	一	
第七	帶山	霧島	第七	熊本縣飽託郡	熊本諸團隊		一	一	
第八	山田	花巻	第八	秋田縣仙北郡	秋田歩兵聯隊		一	一	
第九	立野原	三里濱	第九	富山縣石川郡	金澤諸團隊		一	一	
第十	青野原	谷村	第十	兵庫縣加西郡	姫路諸團隊		一	一	
第十一	雲邊寺原	道音寺山	第十一	香川縣綾歌郡	善通寺、丸龜、高知、松山、諸團隊		一	一	
第十二	板東	日出生臺	第十二	德島縣板野郡	德島歩兵聯隊		一	一	
第十三	協町	日出生臺	第十三	大分縣速見郡	小倉、久留米、大分、福岡、下関、佐世保、長崎諸團隊		一	一	

0812 0813

[illegible]

附表第二

陸軍演習場主管、雇員、傭人手當金並給料定額表

種 別	主 管			雇 員		
	特 別	最 高	最 低	特 別	最 高	最 低
習志野、下志津、富士裾野、日出生臺、櫻庭野、日本原	八十圓	六十圓	四十圓			
王城寺原、信太山、長田野、原村、三瓶原、大矢野原、美磯、山田野、立野原、青野原、關山、金九原、高師原	六十圓	四十圓	二十圓	十七圓	十五圓	四十錢
前記以外ノ演習場	三十圓	二十五圓	十五圓			

- 一 主管及雇員ハ各其ノ技能ニ應シ採用ノトキ最高額以内ノ月額ヲ給シ爾後昇給セシメテ最高額ニ至ラシムルモノトス但シ主管中特別ノ技能ヲ有スル者若ハ主管及雇員ニシテ最高額ヲ受ケテヨリ三年以上ヲ經タル者ハ特別額迄昇給セシムルコトヲ得
- 二 第七師管ニ在リテハ主管(美瑛演習場主管ヲ除ク)ノ手當月額四十圓雇員給料月額二十圓傭人日給四十五錢迄ヲ給スルコトヲ得(台灣ニ在リテハ主管ノ手當月額五十圓迄ヲ給スルコトヲ得)
- 三 朝鮮及臺灣ニ在ル演習場ノ雇員及傭人ノ給料ハ本表ニ依ラス朝鮮滿洲駐劄陸軍部隊給與令細則並臺灣島及澎湖島駐劄陸軍部隊給與規則細則ヲ適用スルモノトス
- 四 總テ採用ノトキ手當金又ハ給料ヲ定メ若ハ爾後之ヲ昇スハ主管ニ在リテハ師團長、雇員及傭人ニ在リテハ管理委員長之ヲ命スルモノトス
- 五 主管以下ノ手當及給料ハ軍事費雜給及雜費ノ支辨トス
- 六 手當金及給料ノ支給方法ニ關シテハ陸軍雇員傭人給料支給規則ヲ準用スルモノトス
- 七 主管以下ノ住宅ハ當該演習場廠舎ノ一部ヲ貸與スルコトヲ得

0814

何年何月何日調製
經理部長氏名

土 地	廠 舍	植 物	雜 件
一 總面積 內 譯 何 坪 陸軍用地 何 坪 御料地 何 坪 民有地 何 坪 (前年ニ異ナラサレハ記入ニ及ハス)	一 兵舍 幾棟 厩 幾棟 炊事場 幾棟 、 、 、 、 、 二 倉庫 幾棟 (前年ニ異ナラサレハ記入ニ及ハス) 三 第二號兵舍修理中何月何日完成ノ豫定 四 第三號兵舍修理中何月何日完成ノ豫定	一 圖上某所某色ノ部分幾坪ニ松樹ヲ植タリ 二 圖上某所某色ノ森林幾坪伐採セラレ其ノ跡諸兵運動ニ差支ナシ 三 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	一 廠舍使用部隊ノ爲毎年夏期ニ於テ使用水ノ缺乏ヲ見タルヲ以テ何々ノ處置ヲナスニ決シ目下工事中ナリ 二 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、

製表上ノ注意

一 本表ニハ演習場ノ要圖、廠舎配置圖、廠舎平面圖ヲ附スヘシ但シ異動ナキモノニアリテハ之ヲ附スルニ及ハス

二 本表ハ毎演習場毎ニ之ヲ調製スルモノトス
三 本表ハ一例ヲ示シタルモノナルヲ以テ調製者ハ必要ニ應ジ本表ノ様式ヲ定ムルコトヲ得

